

## 持続可能な力を読書で高めよう 読書推進プロジェクト

### 1 学校の概要

- ①所在地 〒969-6546 福島県河沼郡会津坂下町字曲田1391番地
- ②学級数・生徒数 9学級・196名
- ③学校図書館の蔵書数 27,863冊

### 2 取組内容

#### (1) 学校図書館環境の充実へ向けた取組

- ① 図書分類表示の変更  
著者名表示をローマ字からカタカナ表記に変更した（平成30年4月から継続実施）。  
利用者の図書の検索が容易になった。図書委員の返却業務の効率化が図られた。
- ② 推薦図書コーナーの設置  
図書室に入ってすぐのところに推薦図書コーナーや新刊コーナーを設けている。また、新刊本が入荷したらすぐに表紙をカラーコピーし校内2カ所の掲示板に貼り出して周知している。また、図書室や掲示板には季節を感じさせる飾り付けをしており、生徒の感性を豊かにする工夫をしている。
- ③ 図書委員による本の紹介  
月1度「図書館だより」を作成している。新刊本の紹介や図書委員の「私のおすすめの本」の紹介文を載せている。

#### (2) 読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

- ① 朝の読書の実施  
平成12年4月より「朝の10分間読書」を開始して21年となる。生徒は落ち着いた気持ちで授業に臨むことができている。
- ② 全校一斉読書の実施  
11月の「全国読書週間」に合わせて、良書の普及、読書の普及を目的に「放送による全校一斉読書」を実施している。今年度は11月1日に実施した。図書委員3名が自分で「絵本」を選び、2ヶ月間練習（会津坂下町のボランティア団体「読み聞かせの会」より指導を受けている。）をして本番に臨む。



放送の様子



朗読を終えて

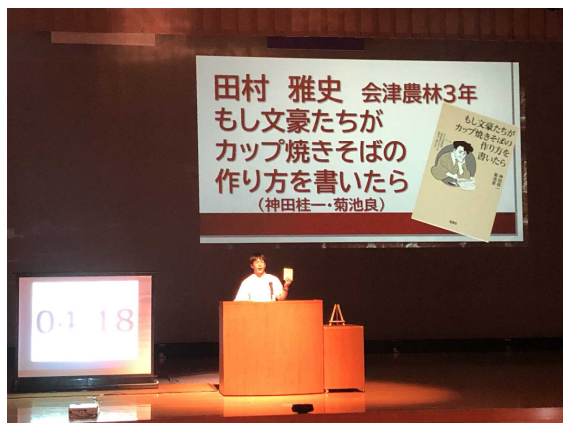
- ③ 「多読賞」の表彰  
学年末に、1年間たくさん本を読んだ生徒上位5名を表彰している。今年度も2月末に表彰予定である。

#### (3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

- ① 青少年読書感想文コンクールへの参加  
平成28年より青少年読書感想文コンクール（SLA）に参加している。国語科と連携して夏季休業中の課題としている。
- ② ビブリオバトルの実施  
今年度2回目の試みとして、国語科と連携して「全校ビブリオバトル」を実施した。平成30

年度より個人で出場している生徒はいたが、コロナ禍の臨時休業を利用して読書をさせ、休業明けに全生徒約190名で実施した。国語の授業2時間を用いてグループ内予選、クラス内予選を実施した、その後放課後を利用して各クラス代表による全校大会を図書室で開催した。代表として参加した会津地区大会は、昨年より参加人数が多く、本校生徒は今まで最高のパフォーマンスで披露でき何とか入賞できた。地区代表は逃したものの選択した本のタイトルが聴衆の興味を持たせたようである。

ビブリオバトルは多様化した社会で想像力や表現力の向上など多岐にわたる成果が期待出来ることや、もう1度ビブリオバトルをやりたいという生徒が多数いるので、次年度以降も継続する予定でいる。



発表の様子



表彰後の記念撮影

### ③ 愛読書のPOP作成

4年目の試みとして、「愛読書POP作成」を夏季休業中の課題（1・2年生全員。3年生は希望者）とした。愛読書のお気に入りの場면을「絵と文字」で表現させた。提出されたPOPは掲示板に飾ったり、コンクールに応募したりした。色鉛筆や絵の具などを用いて本の世界を表現できる楽しさを味わっている生徒が多く見かけられた。

### (4) その他、読書活動推進へ向けた取組

#### ① 会津坂下町ボランティア団体「読み聞かせの会」による絵本の読み聞かせの実施

平成29年度より、地域ボランティア「読み聞かせの会」の方々による絵本の読み聞かせを年3回程度実施している。LHRの時間帯に会の方々にお越しいただき、学年別に行って大型絵本や大型紙芝居の読み聞かせを行っていただいている。今年度はコロナ禍で実施が危ぶまれたが、感染症対策を行い実施することができた。



読み聞かせの様子①



読み聞かせの様子②

#### ② 同団体の「民話の語り部」の方による学習会の実施

今年度初めての試みとして、図書委員18名に対する「会津坂下町の民話の語り部学習会」を実施した。会津坂下町に伝わる口伝の民話を文字に起こし、その資料をもとに方言の意味の確認や音読の練習をしていただいた。興味を持った生徒には後日個別指導をしていただき、その成果を「放送による全校一斉読書」の際披露させた。来年度も継続していきたい。